

臨床法学教育学会第13回年次大会（2020年度）
プログラム

日時： 2020年6月20日（土） 14：00～17：30

6月21日（日） 9：30～16：45

会場： オンライン（ZOOM）： 参加方法については別紙をご参照ください。

テーマ：「法学部と法科大学院の連結軸

—— 『理論・技能・責任』の統合と臨床法学教育」

シンポジウム

企画の趣旨： 花本広志（獨協大学）

報告：「法学部教育と法科大学院教育を分かちつものと結ぶもの：臨床法学教育の役割」

宮川成雄（早稲田大学）

「震災復興クリニック」

須網隆夫（早稲田大学）

「女性と人権クリニック」

松本克美（立命館大学）

「地域と共に挑戦するバークレーロースクールの臨床法学教育」

永戸考（弁護士）

指定討論： 大貫裕之（法科大学院協会理事長・中央大学）

※ 大会事務局連絡先： jclea.jimu@gmail.com

I 部会

1日目 6月20日(土)

* 14:00～15:30

(1)法曹倫理部会 世話人:森際康友(明治大学)

テーマ:「法曹養成にとって法教育とは何か - - 相互の関連性と協働の可能性」

報告者: 山口卓男(弁護士)「法教育の目指すものと法曹養成教育のあり方——車の両輪説」

柴垣直哉(弁護士)「法曹養成についての法教育——前輪後輪説」

馬場陽(弁護士)「法曹養成と法教育は何のサブシステムか——法制度という第3輪」

野坂佳生(弁護士・金沢大学)「<市民のための法教育>が目指すもの——期待される法曹像との関わりで」

* 16:00～17:30

(2)自由報告部会 世話人: 花本広志(獨協大学)

報告者: 川嶋四郎(同志社大学)「民事裁判のIT化と臨床法学教育」

池田直樹(関西学院大学)「模擬依頼者を使った模擬法律相談(同一シナリオでの新人弁護士とロースクール生での比較対照)から探る臨床教育の重要性」

2日目 6月21日(日)

* 9:30～11:00

(3)緊急テーマ部会 世話人: 花本広志(獨協大学)

テーマ:「オンライン臨床教育の可能性

—— with Corona の教育を模索し、after Corona の教育にどうつなげるか。」

報告者: 楠田弘子(ロヨラ大学ニューオーリンズ校)「アメリカでの取り組み」

大澤恒夫(中央大学)「法学部における ZOOM 交渉教育」

四宮啓(國學院大学)「オンライン臨床教育:非常時から新時代を展望する」(オンラインによる刑事弁護クリニックの可能性)

* 11:20～12:10 【短縮開催】

(4)企業法務部会 世話人:米田憲市(鹿児島大学)、杉山忠昭(元花王)

テーマ:「組織の論理と弁護士倫理の狭間で」

基調報告:

榊原 美紀(日本組織内弁護士協会 理事長、ユニバーサル・ミュージック合同会社 リーガル・アンド・ビジネス・アフェアーズ本部本部長)「弁護士倫理と組織内弁護士 ～ 組織内弁護士の実情と課題」

II 総会 13:30～13:45

Ⅲ シンポジウム 14:30～16:45

テーマ:「法学部と法科大学院の連結軸 —— 『理論・技能・責任』の統合と臨床法学教育」

企画の趣旨・司会 花本広志(獨協大学)

報告: 「法学部教育と法科大学院教育を分かつものと結ぶもの: 臨床法学教育の役割」

宮川成雄(早稲田大学)

「震災復興クリニック」

須網隆夫(早稲田大学)

「女性と人権クリニック」

松本克美(立命館大学)

「地域と共に挑戦するバークレーロースクールの臨床法学教育」 永戸考(弁護士)

指定討論: 大貫裕之(法科大学院協会理事長・中央大学)

パネルディスカッション: 宮川成雄、須網隆夫、松本克美、永戸考、大貫裕之

全体質疑

Ⅳ オンライン懇親会 17:15～18:45

飲み物・食事各自